

【聖書朗読箇所】（新共同訳）

出エジプト記 20章15節

<sup>15</sup>盗んではならない。

マタイによる福音書 5章43〜48節

<sup>43</sup>「あなたがたも聞いていっているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。<sup>44</sup>しかし、わたしは言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。<sup>45</sup>あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。<sup>46</sup>自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるうか。徴税人でも、同じことをしているのではないか。<sup>47</sup>自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになるうか。異邦人でさえ、同じことをしているではないか。<sup>48</sup>だから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」

（聖書協会共同訳）

出エジプト記 20章15節

<sup>15</sup>盗んではならない。

マタイによる福音書 5章43〜48節

<sup>43</sup>「あなたがたも聞いていっているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と言われている。<sup>44</sup>しかし、私は言っておく。敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。<sup>45</sup>天におられるあなたがたの父の子となるためである。父は、悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。<sup>46</sup>自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるうか。徴税人でも、同じことをしているのではないか。<sup>47</sup>あなたがたが自分のきょうだいにだけ挨拶したところで、どれだけ優れたことをしたことになるうか。異邦人でも、同じことをしているではないか。<sup>48</sup>だから、あなたがたは、天の父が完全であられるように、完全な者となりなさい。」

## 説教「主の御顔を仰ぐ」

説教者 左近 豊師 (美竹教会・青山学院大学)

一九六八年、東京に生まれる。

一九六九年六月、幼児洗礼(阿佐ヶ谷教会)。

一九八六年二月、信仰告白(石神井教会)。

一九九五年、東京神学大学院修士課程  
修了。日本基督教団補教師准允。

一九九八年、日本基督教団正教師按手。

横浜指路教会副牧師を経て留学。コロンビ  
ア神学大学院、プリンストン神学大学院博  
士課程修了 Ph.D. (博士・旧約聖書学)。

国際基督教大学非常勤講師を経て、聖学院  
大学助教、准教授(二〇一四年まで)。

二〇一四年から、美竹教会牧師。

二〇一八年から、青山学院大学国際政治経  
済学部宗教主任・教授。

## 【著書・訳書】

・左近豊編『聖書における和解の思想』(二  
〇二五年)

・左近豊・丹治めぐみ編『聖書からの贈り  
物』(二〇二五年)

・左近豊『エレミヤ書を読もう―悲嘆から  
いのちへ―』(二〇一八年)

・左近豊『祈り(信仰生活の手引き)』(二  
〇一六年)

・福嶋裕子、大宮謙、左近豊、スコット・  
ヘイフマン編著『3・11以降の世界と聖  
書―言葉の回復をめぐって―』(二〇一  
六年)

・M・ブルックマン(小友聡、左近豊監訳)  
『旧約聖書神学用語辞典―響き合う信  
仰―』(二〇一五年)

「石神井教会創立五十周年記念誌」より転載

石神井教会五十年略史（一九五七—二〇〇七年）

一九五七年（昭和三二年）

一九五八年（昭和三十三年）

一月二日（水）東京神学大学教授左近義慈氏宅で、教授御夫妻、阿佐ヶ谷教会大村勇牧師、石井忠善牧師らにより、伝道所開設について懇談し、そのために祈る。

一月二日（火）建物を神奈川県日吉台より運搬する。  
二月九日（日）阿佐ヶ谷教会の臨時教会総会において、石神井伝道所を分離独立させ、伝道所に関係の會員一二名の転籍を承認した。ここに石神井伝道所が正式に開設された。

二月二四日（日）阿佐ヶ谷教会臨時教会総会において石神井を中心に開拓伝道に着手し、すでに昭和二六年よりあつた佐々木忠一氏主管の石神井伝道所の名称を受けついで出発することが議せられ、満場一致折りのうちに決定された。

二月二六日（日）石神井伝道所第一回創立記念礼拝が大村牧師により持たれ、礼拝後第一回教会総会が開かれ、以後毎年二月第三日曜日に創立記念礼拝を行うことを定め、また石井忠善牧師を主任担任教師として招聘することを決議した。

三月一〇日（日）三宅徳太郎、住枝子御一家の御好意により、下石神井二ノ一二九〇の同氏宅で最初の聖日礼拝をもち、以後会堂建設まで毎日曜午後二時から礼拝を継続して守り、大村牧師、左近教授、石井牧師が交代で講壇を担当する。

三月一六日（日）教会敷地は辻英祐氏の御好意により、下石神井二ノ一二五三の現在地に決定、建築基礎式を行う。

一月 東京教区を通して会堂として米軍建物の私下げが抽選の結果確定する。

四月七日（日）石井牧師阿佐ヶ谷教会を退任、石神井伝道所主任担任教師として赴任する。阿佐ヶ谷教会より教会敷地六八坪分の代金百万円を受領する。

二月一五日（日）阿佐ヶ谷教会臨時教会総会において石神井伝道所会堂建築案を了承し、土地購入のため百万円を教団より借入れることを決定した。

六月八日（日）会堂建築完成し、献堂式を挙行。一二〇名。  
六月二五日（日）教会学校開校。

